



■ 戦場跡の

セルベリア

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

みならい本舗

「まえがき」

こんにちは&初めまして 皆素人です。
今回はギルランダイオ要塞にてセルベリアが
生還しているのを妄想した中のその1です。
その2は在庫が無くなったりテンションが上がる
出来事があったりすると出るかもしれませんし
出ないかもしれません。
セルベリア愛を日々ユーザーチャージ出来る様
頑張ります。

ですが暑さに我慢が出来ずに作業したくない病に
かかってしまって毎日が憂鬱です。メディーック！
部屋が暑すぎてマクドが僕の中でのオアシスです。
それでは戦場跡のセルベリア、妄想全開な内容ですが
どうぞ宜しくお願い致します。



「そうか…お前がクルトか…
私は中部ガリア方面侵攻部隊指揮官
セルベリア・プレスだ…
そうだイムカとやらは捕虜として捕らえた。」
「捕虜を解放する条件としてお前に
頼みたい事がある…大佐としてではなく
一人人としてだ…。」

「もうすぐここギルランダイオ要塞に
ガリア正規軍がやってくる事だろう…
その中には間違いなく奴等、第七小隊も
作戦に参加するはずだ。」

「その結果、我々は敗北して戦死もしくは
捕虜となるのは目に見えている…
私はあの小隊に居るヴァルキュリアには
勝てないからな！」

「だが私はここで
死ぬわけにはいかないんだ…
あの総司令官…
マクシミリアンを殺すまでは…」

「だからお前たちネームレスに
私も入れてくれないか…
私は元々帝国になんら思い入れはない…
私を助けてくれ…クルト・アーヴィング。」

「それに私を助けることはお前にとっても
悪い条件ではない…
イムカの命だけでは足りない分は
私自身のカラダで補うから…
だから…私の決意を証明する為にも
とりあえず私の部屋まで来い…クルト…。」

「フフ…口では否定しても
身体は正直なものだ…
イムカとはそういう仲ではないのか？
そうか…それでは
これは相当溜まっているな…。」

「とりあえず一回射精しておこうか？
交渉？ああ、これはサービスでいい
ほら、チ○ポ出してみろ。」

「ヴァルキュリア人の足裏でシゴかれる
機会なんて滅多に無いから
堪能するといいいい…」

「いきそうか？ちよつと弱めとくか…」

「そのままシゴかれながら聞いてくれ。
交換条件に応じるなら…そうだな
まずは奴等がここに攻めてくるまでの間、
このスキンひと箱分の回数
私を好きに抱く事を許可するとしよう…」

「私を逃がしてくれたらさらにもう一箱…
その後マクシミリアンに復讐を果たした後に
私の面倒を引き受けてくれるのなら…
そうだな…
お前の子供を産んでやってもいい…
生で何度でも膣内射精し放題だ…
ヴァルキュリア人の血を絶やす訳には
いかないから私としても利がある。」

「仲間であるガリア軍に追われている身だ
悩むまでもないだろう？
イムカも安全に送り返す…
どうだ？引き受ける気になったか？」

ギシッ

「？
なに：？今の話だけでは
私が信用に足る人物なのか
情報が足りない：だと。」

「あれだけヴァルキュリア伝来の
技で足コキ射精を堪能したお前に
信用などと言われるとはな：
用心深いんだな：それとも
私に魅力が足りないのか：？」

「いや：いい
お世辞など必要ない：。」

「そうだな：。」

「私の産まれば東ヨーロッパの小国だった。
ある日帝国の侵略を受けて私は捕まった：
隠していたヴァルキュリアの血もそこで
見つかってしまい、抵抗も虚しくその後
ヴァルキュリア人の遺伝子研究機関に
強制送還されたのだ：。」

「帝国はヴァルキュリアの力を
軍事転用することにより御執心らしく
毎月何人ものヴァルキュリア血族が送られ
洗脳、投薬、人体実験がほぼ毎日行われ
そして殆どが虫ケラのように死んでいった。」

「私は何故か研究員達に
気に入られたらしく、命に
関わる様な実験はされなかつた。」

だが…

そのかわりに…

「毎日、毎日奴等の慰み者にされて
調教、開発を繰り返されたな…
膺の締めりが悪くなるとクスリで
強制的に覚醒させられ、寝る間も
与えられず実験体としてモノとして
犯されながら気絶する日々…。」

「妊娠と中絶を繰り返し、
洗脳により自殺することも叶わずに
私は精神的にも限界が来て
感情の無いただの愛玩人形と化した。」

「誰が父親なのわからない
私の子供は結局…一人も
生まれてくることは無かつた…」



くっ...

「私は悔しかった！
私を研究施設から救い出してくれたと
思っていたマクシミアンは
実は、裏で研究所と繋がっていたのだと知り
今までの忠誠心、私の想い、奴への行動を
思い返す度に！私は悔しかった！」

「私はついこの前まで奴の為にガリア軍を巻き込んで
自爆してもいいとすら思っていた！
私は愚かだった！何故奴のヴァルキリアの力に対する
異常なまでの執着心に気付かなかつたんだらうか！
どうして奴の為に胸を突き
能力を覚醒させてしまったんだらうか！
家族はヤツ等に殺されてもう居ないというのに...。」



「……………」

「なんだ…？
励ましてくれて…るのか…？」

「そうか…いや…いい…
信じる気になってくれたのなら
それでいい…。」

「今日から私もネームレスとして
共に戦場を駆けよう。
よろしく頼む…。」

「それにしても何だ？
今の励まし方は…フフツ…
あまりに不器用すぎてちよっと
笑ってしまったではないか…
お前はそういう男なんだな…クルト
わかった…覚えておこう。」

それから…

「おかえりクルト。
今夜の夕食は大成功だ！
先に汗を流してくるといい…
その間に準備しておくから。」

「なんかこれって
新婚夫婦みたいだな…ふふふ
すっごいドキドキしてる…」

「どうだ？美味しいか？
そう…良かった。」

「ほら口を開ける…
はいアーン…」

「だめだ、今日は私の番なんだ
食事を食べさせるのも
私の好きにさせてくれないか？
子供の頃、いつか誰かにこんな事を
する日を夢に見ていたんだ…」

「我僂言ってすまない…クルト
食べ終わったらちよっと晩酌しながら
まったりしないか？積もる話もあるし…」

「今夜は待ちに待った私だけの
クルトの日だ。すぐに寝るなんて
許さないから覚悟するといい…」



ト...

「心の底から...愛している...」

あぁっ：クルトの
熱い肉棒が私の中に：
入ってくる：久しぶりに：

久々のヴァルキュリア人の
マンコの味はどうだ？
気持ちいいか？
これはもうクルトだけのモノ
なんだからな：



あぁっ：最初から飛ばすな：
童貞だった頃から比べると
なんだか微笑ましいぞクルト

あれから何度も私と
交わったもんな：
スキンを節約する為に
一枚で何回もしたり

二箱なんてあつと
しまったな：



んっ出てる：

最近戦闘も多かったし
溜まっていたんだな：
ほらギュっとしてやるから
溜まってるの全部出すといい：

わたしのマンコがクルトの様な
優秀な指揮官の遺伝子を注いで
もらえて喜んでるぞ：
精液便女にされて喜んでるぞ：
淫乱ヴァルキュリア人にされて
しまった責任はとってもらおうぞ
クルト：



「私もさっきからイキっぱなしで……まともに思考が……はたらか……ないっ……あつまたイクっ」

「射精したまま腰を振り続けるなんて……そんなに溜まっていたのかクルト……」

あれから何度も膣内射精してもらっているのに一向に妊娠する気配がない……研究所に收容されていた時に生殖機能が壊れてしまったんだろうか？……わからない……すまないクルト……

でも平和になった後毎日中に注いでもらえばいつかきっと……ヴァルキュリア人の子供を授かれる……はずだから

出てる……まだこんなに沢山……

「いっっぱい出たなクルト……これ位じゃ全然満足出来ないが明日も厳しい戦いがあるだろうから、今日はこの辺で終わろう……」

「そうだクルトこのまま繋がったまま寝よう……いいだろう？」



ギルランダイ要塞で死ぬはずだった私は今ここに居る…ここに居るのはクルトの胸に抱かれて幸せを感じるただのヴァルキュリア人…

ふふっ…クルトの身体は大きすぎて嬉しいな…



貴様！新参のくせに調子に乗るんじゃない

ガイルルル



ありえない…

あらあら…やるわねセルベリア

クルト、次の作戦の…!? なっ！またお前はっ…!!



吠えるなイムカダルクス人の器はそんなに小さいのか？

それに昨日は私がクルトの恋人として妻として性欲処理する順番だったんだ文句を言われる筋合いは無いぞ

それより作戦の話を持ってきたのだからイムカ？このままでいいから話を続ける。我等ネームレスの晴れ舞台を華々しく飾る為にも…


お前！ありえない…いいからクルトから離れろ！

繋がったまま寝たからな…生理現象で辛いならこのまま一回出しておくかクルト？

話を聞け—っ!!淫乱ヴァルキュリア!!

あらあら。仲がいいわね…

「あ と が き」



お買い上げありがとうございます。皆素人です。
今回は以前イベントにて出したコピー紙を清書して
加筆したセルベリア本となりますが
如何でしたでしょうか。
セルベリアが大好きなのですが、未だPS3を
持っていないのでゲームにてセルベリアの最期を
見たことがありません。
なので僕の中ではセルベリアは未だ健在であります！
ノーカン！ノーカン！
ベータ世界線にてクルトと422部隊の女性と
ラブラブイチャイチャしてます！
続編に期待しまくりな毎日ですが、戦ヴァル1&2もいつか
クリアしたいです。何よりパート1がPSPに移植して欲しいです。
セルベリアのフィギュアも欲しいです。
RAITAさんの複製原画も欲しいです。
展示会を見に行ったらキャラ一体で
10万近くしてて全然手が出せなくてトボトボ帰った
記憶が一番新しい戦ヴァルの思い出です^^
欲しいものづくしで毎日生きるのがつらい日々ですが
頑張っ生きてこ！生きていきましょう。

それではまた次回がありましたら
是非宜しくお願い致します。



奥付

発行日:2012.08.12

誌名: 戦場跡のセルベリア

発行:みならい本舗

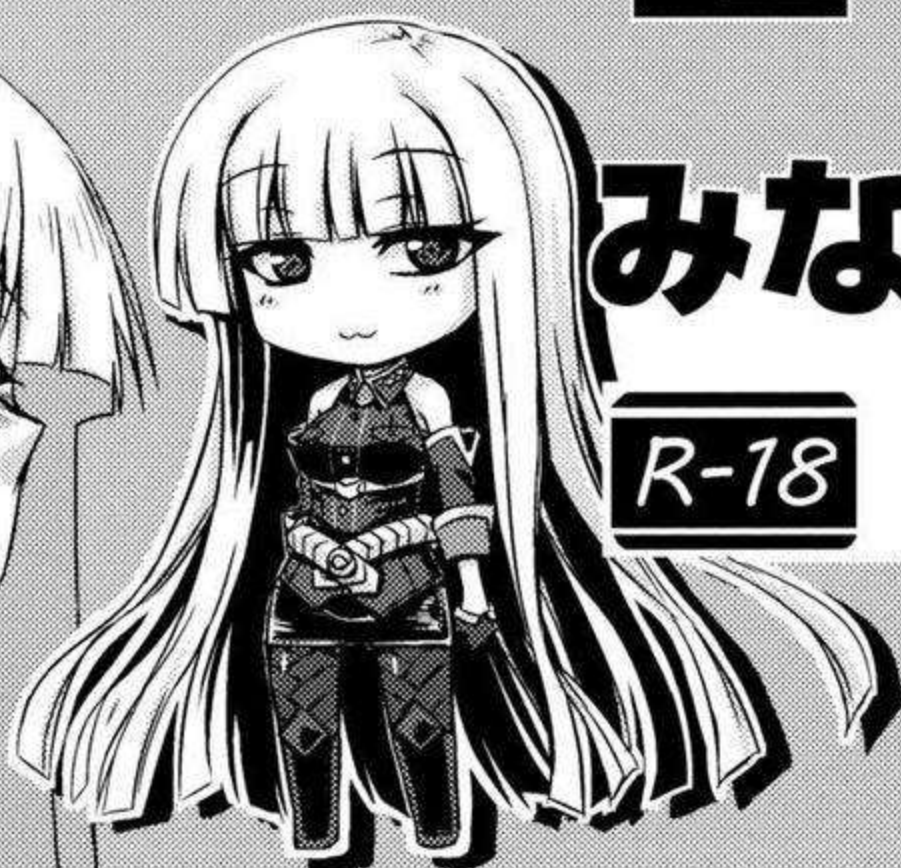
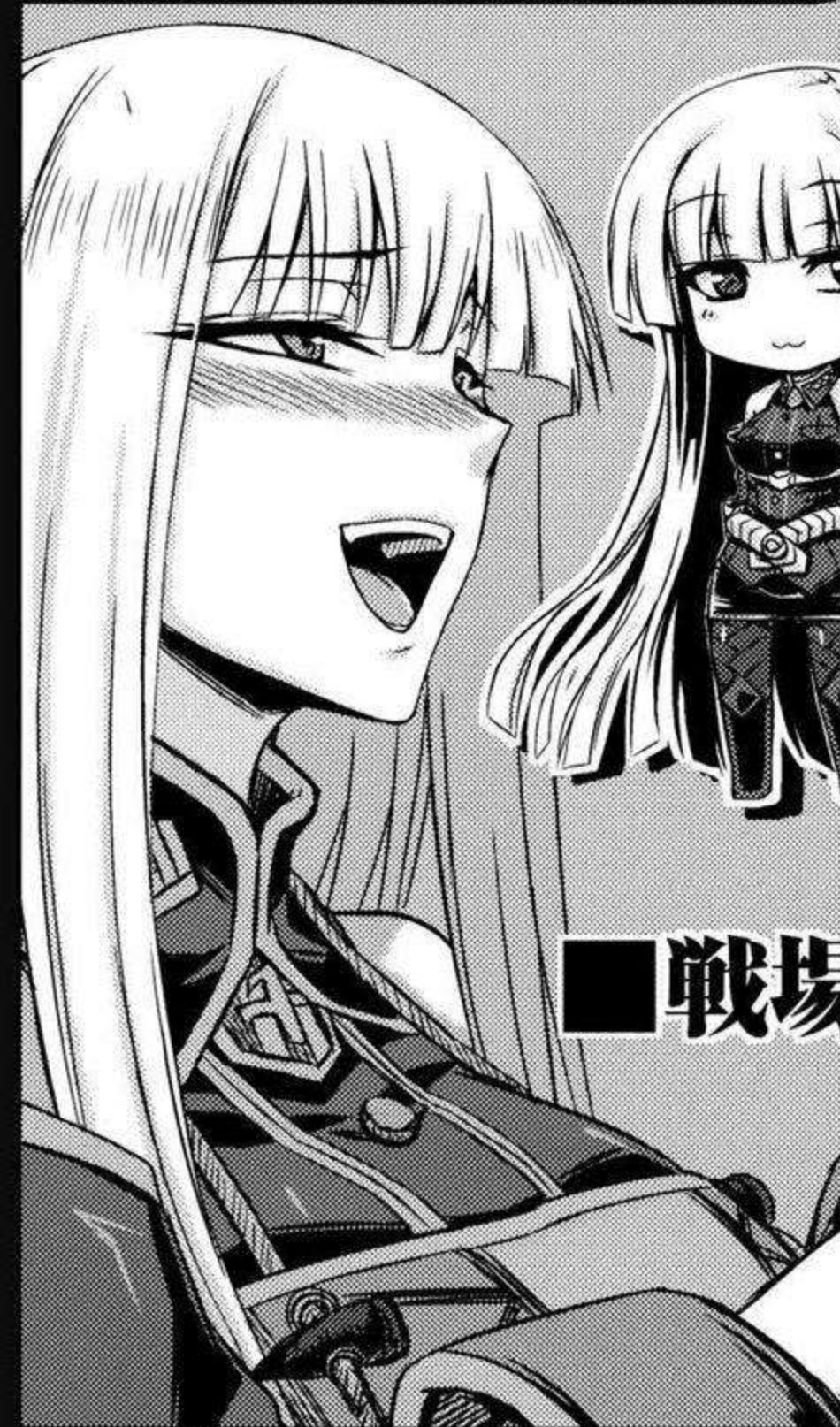
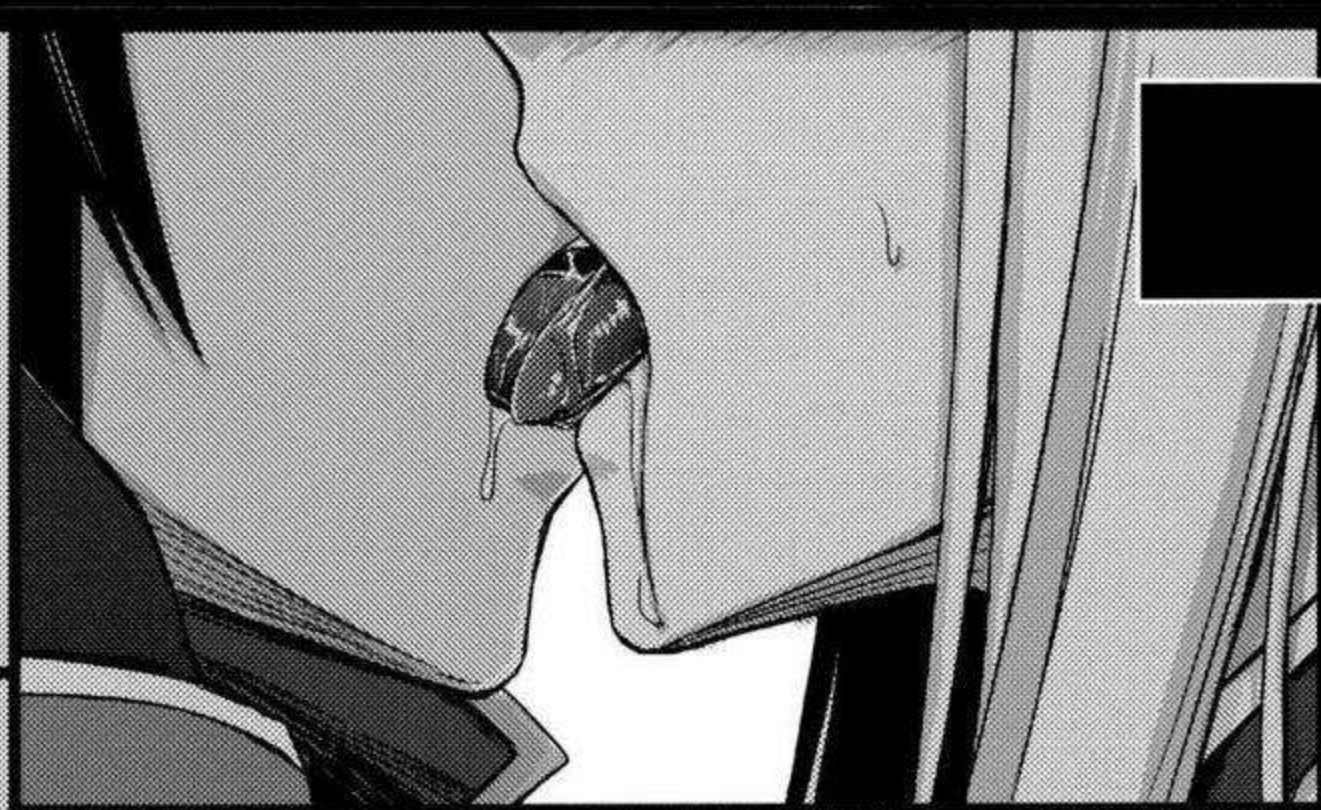
発行者:皆素人

印刷:マツモトコミックサービス様

連絡先: minarai_honpo@yahoo.co.jp

ブログ: <http://minazin.blog39.fc2.com/>

※未成年者の閲覧・購入はご遠慮下さい



みならい

R-18 本舗



■戦場跡のセルベリア

